



### 仙台市が「スポーツ推進計画」中間案

2022年度から32年度を期間とする「スポーツ推進計画」。高見のリ子議員は12月13日の一般質問で「中間案は、子どものスポーツ推進を重点施策として位置づけている」と述べ、若者の声にこたえる施策の推進を訴えました。

## 世界中から熱い視線

# アーバンスポーツ

代表的な競技は、スケートボード、BMX（バイシクル・モトクロスと呼ばれる自転車競技）、スポーツクライミングなど。オリンピックはじめ世界的なスポーツの祭典にも競技として採用されています。東京五輪でも注目をあびました。

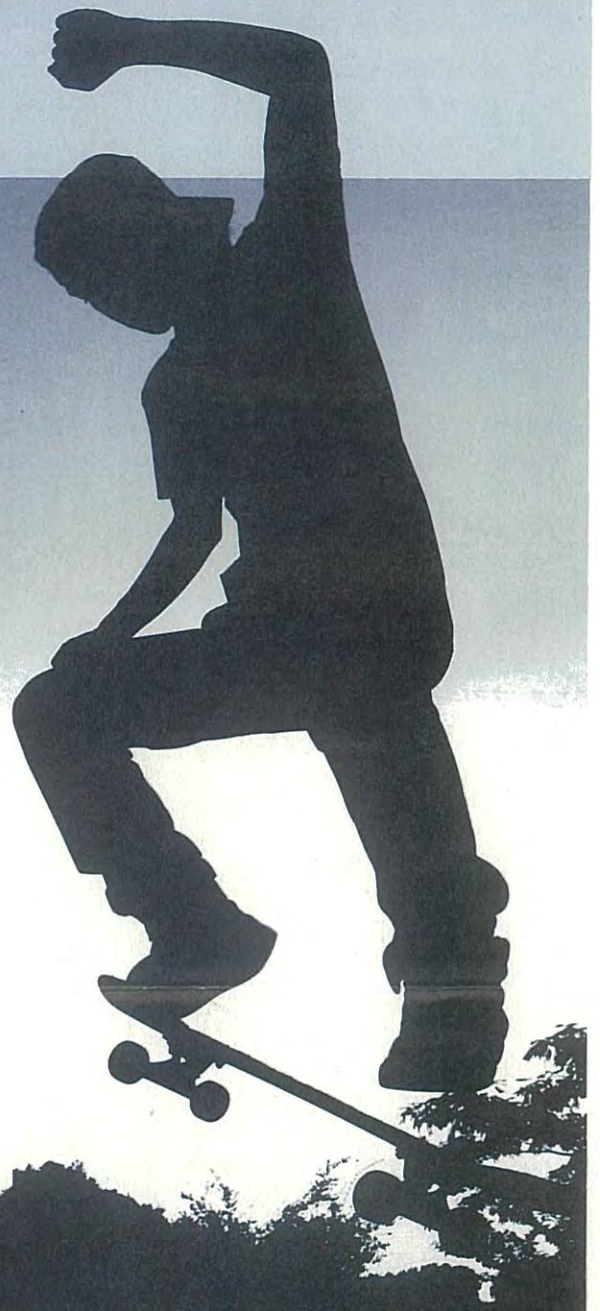
**高見のリ子議員**「市内でスケボーができる公営の場所は、榴岡公園、元気フィールド（新田東総合運動場）だ。しかし、小さな子どもさんがスケボーをやりたく榴岡公園に行っても、上級者が多く結局、スケボーを抱えて帰って来るという話も伺っている。BMXは、2008年の北京オリンピックで正式種目となり、今年の東京オリンピックでは、フリースタイルが新たに採用され話題となった」

「福島県新地町では、公式コースも有するパンptrackを開設し（写真下）、キッズコースや国際規格に準拠したコース、ジャンプコ

ースと3種類のトラックを備える。周辺には平坦なアスファルト舗装があり、初心者や子どもたちも安全に遊べる。遠くからの来園者も増えている。仙台市内でもトラックを設置してほしいとの要望があがっている。子どもからおとなまで幅広い年齢が楽しめるものだ」

**文化環境局長**「新田東総合運動場には、スケボーパークなどを備えている。まずは、既存施設や施設の空きスペースを活用し、アーバンスポーツに親しめる環境づくりに努める」

**高見議員**「注目のスポーツで人気が高い。費用もそんなにからない。ぜひパンptrackを検討してほしい」



福島・新地町のパンptrack  
（撮影：高見のリ子）

# ボクらが 輝ける場所

## スポーツシティ仙台を

# 誰でも気軽に汗を流せる

高見のり子の一般質問より

市が「スポーツ推進計画(中間案)」でかかげる「人とまちが元気に輝き続けるスポーツシティ仙台」。高見議員は、子ども、高齢者、障害者などの視点も大切にして、だれもがいつでも、どこでも気軽にスポーツを楽しむことのできる環境整備を求めました。



歩くのを楽しもう。

## フットパス

高見議員「フットパスは、イギリスで発祥した、歩くことを楽しむための道のこと。本市の新浜町内会は、津波被害から現地再建を果たし『貞山運河界隈の暮らしと新浜フットパス』を行っている。里山や田園、古い町並みなどを楽しみながら歩く。今後、蒲生北部地区も案内板が設置される。津波被災地のフットパスは、文化の伝承と賑わいづくりとして推進を」

文化観光局長「スポーツ推進計画でも、ウォーキングなど積極的に推進することとしており、フットパスも方向を一にするもの」

宮城野区長「こうした取り組みは、地域の魅力、復興の様子を発信するうえでも役割を果たすもの。位置づけて、海浜エリアの賑わいづくりを進める」



新浜フットパス(11月21日)。木道も整備され、参加者たちは、海風のなか気持ちのよい汗をかいた

## 公認プール

高見議員「政令市20都市で公認プールがないのは、仙台市だけだ。市水泳協会、仙台ねんりんピック水泳協会、新日本スポーツ連盟などの団体から長年、設置を要望されている。スポーツ推進計画にしっかり位置づけて具体的な計画をしめすべきだ」

文化観光局長「既存の県内公認プールの利用状況をふまえ、中長期的に検討する」

## 青葉山テニスコート

高見議員「最近は、十分に整備されず、水はけが悪くなったと訴えがあった。全国でも希少価値のクレーコート。世界レベルのソフトテニスプレイヤーも輩出してきた。国体など全国レベルの大会の会場ともなり、整備は毎年しっかり行うべきだ。さらに、クラブハウスのトイレは数が少なく、男女とも洋式が1室しかないため、大会時には長蛇の列ができる。臭いもひどく、改善が求められている」

建設局長「トイレは、設備の更新など行い改善につとめる」

## プレーパーク

高見議員「プレーパークは、プレーリーダーが子どもたちと一緒に遊び、見守っている。自分の責任で自由に遊び、自ら考え判断する能力を育む。市内にプレーパークは、地域の団体が行っている、ふるじろプレーパーク、西公園プレーパークがあるが、横浜市などの取り組みのように、市内に広げるよう求める」

子供未来局長「プレーパークのニーズ、効果を検討する」

## 貞山運河の橋の復活

高見議員「新浜地区の貞山堀では、震災前にかかっていた橋が流され、海岸側にわたれない。海側の松林には、震災遺構の新浜海岸防砂林記念碑、明治3年に建立された八大龍王碑などがある」

宮城野区長「海との往来は、重要なもの認識している。海へとつながるルート確保に向け、国、県と緊密に連携し取り組んでいく」

## 交通公園

高見議員「交通公園は、子どもたちが交通知識やルールを学ぶ場。三居沢と南小泉にある。三居沢は、1967年に設置されたが、54年が経過し、設備は老朽化している。カンカンならない踏切、さびびいた標識など。必要な改修、更新をすべきだ」

建設局長「民間活力の導入も含めた再整備を検討している」

## 鶴ヶ谷団地の土地利用

高見議員「鶴ヶ谷地域では、空き家や空地が増え、売却され、子育て世代が移転して来ている。鶴ヶ谷第二市営住宅再整備事業では、高層化により生み出される土地に、子どもたちの遊び場をつかってほしいとの要望がでている」

都市整備局長「同事業の有効活用は、令和13年以降に利用可能となる見込み。ご案内の内容も含め、適切な時期に検討する」